



長崎大学 経済学部経済学科

ビジネス情報科 函師明莉
(放送部) (穴生中学校出身)

長崎大学に合格内定をいただきました。私は、大学を選択する際、先生からアドバイスをいただき、他県に目を向けて長崎大学を受験しました。受験方法は総合型選抜Iです。一次試験は書類審査、二次試験は筆記試験とプレゼンテーション型面接でした。一次試験の書類審査では必要な書類を先生に添削していただきながら準備しました。二次試験の筆記試験に向けては、苦手な分野を中心に、休み時間などを使い、指導していただきました。面接は短い期間でプレゼンテーションの準備をする必要があり、苦労しましたが、先生方や友人に助けをもらい、無事に乗り越え、合格することができました。大学入学後は折尾高校で学んだことを生かしながら、グローバルな視野を持ち、さまざまなことに挑戦していきたいです。



健和看護学院

ビジネス情報科 下村優花
(洞北中学校出身)

私は、高校卒業後就職するつもりで折尾高校に進学しました。高校1年生の1学期までは就職希望でした。しかし、2学期になって看護師になりたいという夢ができ、実習先が系列病院で学校から近く、最新の設備が整っており、勉強しやすい環境だと感じ、健和看護学院を目指しました。

指定校推薦の条件が、調査書点4.0以上・欠席日数9日未満とありましたので、その事を意識して日々学習に取り組み、学校生活を送って、指定校推薦をいただくことができました。試験内容は、論作文・面接・適性試験(SPI)でした。何度も先生方に面接練習をしていただき、最初は上手くできませんでしたが、練習を重ねて自信が付き、本番も乗り越えることができました。また、折尾高校では、Icanテスト(SPI)が定期的に行われており、私は高得点がとれるよう頑張っていたので、本番の適性試験(SPI)は復習程度で、難なくできました。

日々積み上げてきたものは自分の強みになり、不安なことも練習を積み上げていくことで上達し、自信をつけることができます。このことを忘れず、看護師への夢に向かって頑張っていきます。



九州栄養福祉大学 食物栄養学科

生活デザイン科 松山妃奈
(被服部) (本城中学校出身)

私は、高校2年生の時に管理栄養士になりたいという具体的な目標ができました。元々調理には興味があったため、折尾高校で調理を専門的に学ぶことができ嬉しく感じていました。また、食物調理技術検定や被服製作技術検定などの家庭科技術検定を受検し、資格を取得することもできました。そのような経験が自信に繋がり、目標を決定する上での大きなきっかけのひとつとなりました。

受験先を決定する際、インターネットや資料で調べたときに、九州栄養福祉大学の管理栄養士国家試験の合格率が高いことを知り、興味が湧きました。その後、推薦をいただき推薦受験をしました。九州栄養福祉大学の受験内容は、面接と小論文です。まず始めに過去の面接内容を確認し、面接対策から始めました。折尾高校からの受験は今回が初めてだったので、過去問を取り寄せて頂きました。同じように小論文も過去問を解いて練習をしました。面接練習は先生方に事前に予定を確認し、放課後にご指導いただきました。小論文は担当の先生との個別指導で、休み時間や放課後に練習しました。受験はとても緊張しました。しかし、練習の数が自信となり、面接や小論文の試験を落ち着いて受けることができました。

無事合格することができたのは毎日のご指導いただいた先生方、共に練習に励んできた友人の存在、支えてくれた家族のおかげです。また、折尾高校で毎朝行っている挨拶練習が、受験でとても役に立ちました。皆さんも日頃からきちんと練習に取り組み、意識してみると良いと思います。受験では努力した分大きな自信に繋がると思います。皆さんの進路実現を心から応援しています。